

建設経済常任委員会 委員長報告

令和8年6月29日（月）

それでは、建設経済常任委員会を会期中の6月19日、閉会中の5月8日に開催いたしましたので、その審査の経緯と結果等の概要を報告いたします。

初めに、議案第25号地域再生法に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正についてです。

執行部から補足説明の後、委員から、対象となる償却資産を限定したのはなぜかという質疑に、建物及びその附属設備、構築物、機械及び装置を対象とすることを明確化するものであるという答弁がありました。

以上、慎重審査の結果、議案第25号は、全員異議なく原案のとおり可決と決しました。

次に、分割付託となりました議案第26号令和8年度柳井市一般会計補正予算（第1号）についてです。

執行部から補足説明の後、委員から当初予算に計上できなかったのかという質疑に、例年は計上されていたが、国の支援交付金の採択が4月になったため、6月補正で計上することになったという答弁がありました。

以上、慎重審査の結果、議案第26号中の本委員会所管部分は、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、所管事務事項について報告いたします。

5月の委員会では、執行部から令和7年度空き家除却補助金の実績について、柳井市緊急銃猟対応マニュアルの策定について報告がありました。

6月の委員会では、執行部から柳井市下水道事業経営審議会について報告がありました。

続きまして、本委員会に係る所管事務調査事項について、報告をいたします。

初めに、インフラの維持管理についてです。

5月の委員会では、協議の結果、まずは、柳井市の現状を執行部に聞き取りを行い、柳井市にとって今何が必要なのか調査することを決定しました。

6月の委員会では、執行部から柳井市橋梁個別施設計画について、柳井市新庄横断歩道橋個別施設計画について、柳井市都市公園施設長寿命化計画についての説明を受けました。次回の委員会では、引き続き、柳井市の現状について執行部に聞き取りを行った後に、委員会としてこういったテーマで調査していくのかを決めていきます。

次に、資源を生かした地域の活性化についてです。

5月の委員会では、協議の結果、今、柳井市にある町並みや空き家を再利用・活用し、観光振興につなげていく方策について調査することを決定いたしました。

6月の委員会では、観光客数の推移や白壁周辺の空き店舗数、現在行っている事業について説明を受けました。次回の委員会では、説明の内容を踏まえ、柳井市の課題を抽出し、今後こういった調査を行っていくか協議していきます。

なお、本委員会に係る所管事務調査事項は、引き続き、1 番目インフラの維持管理について、2 番目資源を生かした地域の活性化について、以上の2 点とすることに決定いたしましたので、その旨、申し出をいたします。議長におかれましては、よろしくお取り計らいをお願いいたします。

以上で、建設経済常任委員会の報告を終わります。